第４学年○組　　道徳指導案（略案）

 　　　　　　　　平成２８年　　月　　日　　曜日　第　時

１　資料名，内容項目　　　仲間がいるから　　Ｂ－（９）信頼・友情

２　議論し，考えるための指導上の工夫

★２時間続けて「協力」という同じテーマで議論することで，考えを深めさせる。

★テーマ的な発問をすることで，それぞれの立場から，チームに協力するということ

を多面的に考え，「かげの力」がチームを支えていることを感じ取らせる。

　★一つの立場しか意見が出なかった場合は，教師が切り返して質問し，両方の考えを出すようにする。

　★教師が子どもの発言に共感したり投げ返したりしながら，活発に話し合いができるようにする。

３　本時のねらい

　○協力には実際の協力だけではなく，目に見えない「かげの力」によって支えられ成し遂げられる協力があることを知り，どんな立場でも協力しようとする気持ちを高める。

４　本時の学習過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動 | 時間 | 議論し，考えるための指導上の工夫 |
| 導入 | １　前回の「協力」について，思い起こす。　　・心を一つにする。　　・みんなが同じ気持ちに。 | ５ | ★２時間続けて「協力」という同　じテーマで議論することで，考　えを深めさせる。 |
| 展開 | ２　本資料を読んで話し合う。（１）日本ソフトボールチームはどんな協力をしたのだろう。・上野選手は三試合を投げぬいた。・必死に守った。・ホームランを打った。・ベンチから声を出した。（２）内藤選手のしていることは協力なのだろうか。　　・試合には出ていないが，支えになっている。　　・みんなのためにお守りを作った。 | 40 | ★テーマ的な発問をすることで、　それぞれの立場から，チームに　協力するということを多面的に　考え，「かげの力」がチームを支えていることを感じ取らせる。★一つの立場しか意見が出なかっ　た場合は，教師が切り返して質　問し，両方の考えを出すように　する。★教師が子どもの発言に共感した　り投げ返したりしながら，活発　に話し合いができるようにする。 |
| 終末 | ３　道徳ノートに，本時の振り返りを書く。 | 45 |  |